

# 第5回 杉一小学校運営協議会

日時：平成30年10月15日（月）17：00～18：30

会場：会議室

出席者：井上廣司会長 伴野博美職務代理 竹越不可止委員  
福島 聡委員 河野依子委員 校長  
副校長 米山美智子主幹教諭 北澤 人主幹教諭



6年生 組体操

## 《会次第》

### 1 会長あいさつ

#### ◎運動会

- 目標を立ててやりきる→子供たちが満足そう
- 余裕がない。

#### ◎困っている子供たちについて

- 困った子ではない→困っている子である（相手のことを考えられる子に）

### 2 校長あいさつ

#### ◎困っている子供

- インクルーシブ教育 ・どの子にも居場所を→学校で作っていく

#### ◎運動会

- ・教員一人一人がチームになって取り組んだ。
- ・練習を始めて1週間で、仕上がりがよかった。 学びやすい環境づくり。
- ・地域の方から、個々の名前でも応援してもらえる杉一小の良さ。
- ・清々しい姿が見られた。
- ・暑さ対策、立ち見対策は今後考えていく必要がある。

#### ◎目標をもって取り組む：連合運動会・生活科見学・学芸会・連合音楽会

- ・個々の良さを発揮し、取り組んだことを見ていただきたい。
- ・学芸会をみんなで作り上げる。

### 3 運動会について 北澤 人主幹教諭

#### ◎昨年との相違点

- ・時期：9月末から10月初旬に ・5, 6年生が単独で演技
- ・全校杉一ソーランを5年生の演技種目に

#### ◎児童の様子

- ・一人一人の表情がよかった。 ・皆前向きに取り組んでいた。
- ・練習に気持ちが入っていた。 ・当日はよい天気だった。
- ・教職員の人数減、児童数減→関わってくださる方の力は大きい。
  - ◎PTAの応援・杉森中中学生の働き
- ・それぞれの演技：学年の良さが十分表現できていた→満足感が得られた。
- ・肯定的なアンケートが多い。
- ・切り替えが早い→学芸会にシフトチェンジ

◎CS委員からの感想

- 狭い校庭を最大限に使って行っている。
- 「USA」ノリノリだった。子どもの興味に添っている。
- 成長段階がよく見えた。
- 全員が快く動いている。 生き生きと、チームワークよく取り組んでいる。
- 勝負は大事だと思う。最後まで力を出し切ることに。
- 他では見せない良さが見られた。演技、係活動等
- 来賓席が満席。地域の方が、子供の名前を呼びながら必死になって応援している。
- 6年生がキリッとよくやっていた。
- 北澤先生のライン引きが素晴らしい。
- 暑さに負けない体を作ることも大切。熱中症にならないように自覚しながら過ごす。
- 水分補給タイムのアナウンスはよかった。
- 5年生が、杉ソーランを自分たちで引き継ぐという心意気が素晴らしい。
- 6年生代表の言葉のお話が素晴らしかった。

4 平成31年度の人事構想について（校長より）

- 人事に関するCSの役割
- 東京都教育委員会の定期異動の仕組みについて

＝CS委員だけの話し合い＝

○ICTや英語教育の専門家の配置が必要ではないか。推進できる人材の確保。

# インフォメーション

## 《11月学校運営協議会》

日時： 11月10日（土）12:30～14:00

場所： 校長室

※学芸会鑑賞後、校長室で会食（給食）し、その後話し合い。